

茜 あかねぐも 雲

令和 5年

2月16日(木)

【No. 28】

『クライマックスに向けて……』

私立高校一般入試もほぼ終わり、次の目標は21日(火)に行われる都立高校1次・分割前期ということになりました。都立高校を第一志望としている人にとっては本当の正念場です。精神的にタフな日々が続きますが、ぜひどの人も自分のもっている力をすべて発揮して頑張ってもらいたいと思っています。

さらに、24日(金)からは「学年末考査」が行われます。中学校生活最後の定期考査に向けての準備も怠りなく進めていきましょう！

さて、以前に学年集会でもお話しましたが、進路決定に向けての取り組みと平行して、みなさんの中学校生活の“クライマックス”、そう「卒業」に向けての取り組みも少しずつ動きだしています。昨日報告したように、みなさんの『卒業式』で合唱する曲が「旅立ちの日に」に決まりました。今後、一から練習していくことになりますが、合唱祭で見せた団結力を再度発揮して、赤学年らしい“美しい合唱”を創り上げていきましょう！

さらに、みなさんから提案のあった「校外学習」の実現に向けては、現在関係各所との相談や調整を行っています。もし、実現できたときは、3年間で積み重ねてきた経験を生かして、こちらも赤学年らしい“充実した校外学習”にしていきたいと思います！

今後、3月の特別時間割での各取組を進めていく「卒業記念行事」実行委員会が発足することになります。ここまで学年を引っ張ってくれた各クラスの学級委員を中心に、これからは学年のメンバーみんなで、一つ一つ準備を進めていくことになります。当然のことですが、準備は実行委員会だけで進めていくわけではありません。立案や調整など、実行委員は中心となって活動してくれると思いますが、実際に準備をしたり運営をしたり、そして何よりも一つ一つの企画を盛り上げて中身の濃いものにしていくのは、3学年のメンバー全員の力なのです。もちろん、関わり方は一人一人いろいろな形があると思いますが、ぜひ“お客さん”の姿勢ではなく、「自分たちが主役なんだ」という気持ちを忘れずに、みんなでいいものを創り上げていきましょう。

数えてみると、卒業式まで登校日数が20日あまりとなりました。みなさんの毎日の様子を見てみると、“自分のこと”だけでなく、“周りのこと”“仲間のこと”にも目を向けて生活できている人たちがたくさんいますね。この良い雰囲気大切にしながら、残された日々を楽しく充実したものにしていきましょう！

「進路は団体戦！」～さあ、ゴールはもうすぐそこですよ！！



<中学校生活3年間のみんなの思いを「門出の言葉」にのせて……>

いよいよ、3月17日（金）に举行される、ひばりが丘中学校『第62回卒業式』に向けての準備を進めていきます。中学校の卒業式は、みなさんは一度も参列したことがないのでイメージが湧かないと思いますが、式の後半に行われる「門出の言葉」で、卒業生が3年間の中学校生活を振り返り、式場にいるすべての人々に最後のメッセージを贈ります。卒業生全員で、3年間の思い出や卒業へ向けての思いを、言葉や合唱に込めて伝えるのです。当日言葉を語るのは、学年で選ばれた代表生徒ですが、メッセージの内容は“3年生全員の思い”をもとに作られます。ひばり中第62回卒業生146人のみんなの思いがこもった「門出の言葉」になるように、しっかりと準備を進めていきましょう！

大まかに進め方を説明すると、まずは各クラスで3年間の中学校生活の中からテーマを一つ選んで、全員に作文を書いてもらいます。そして、みんなから寄せられた作文をテーマごとに代表生徒がまとめていきます。それらをつなぎ合わせていき、「門出の言葉」の原稿が完成します。詳しくは、国語の授業の中で小林先生から説明がありますのでよく聞いてください。最高の「門出の言葉」を作り上げるには、一人一人の思いがしっかりと込められていることが不可欠です。まずは、これから書いていく作文を3年生全員で気持ちを込めて取り組んでいきましょう。

【保護者の皆様へ】

子供たちにとって正念場を迎える時期に差し掛かり、保護者の皆様もいろいろと気の休まらない日々が続いていることと思いますが、あともうひと頑張りのところまで来ています。私たちも、最後までしっかりと子供たちをサポートしていくつもりでありますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

さて、生徒からの要望もあり、3月の特別時間割の中で「校外学習」を実施する方向で検討しています。実施可能な日程、安全に活動できる目的地、必要となる費用など、条件が整いましたら実施要項を作成してお知らせします。子供たちにとって、素敵な思い出となる一日にできるよう計画して参りますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

<ご注意下さい！>

現在、高等学校の合格発表が連日行われておりますが、「手続き」について再度ご注意申し上げます。都立高校、私立高校とも、合格した場合に、その後済ませなければならない「手続き」が必ずあります。例を挙げてみますと、“入学確約書の提出”“入学金延納願の提出”“入学金の納入”“制服等の採寸”などなど、その内容、そして方法は学校によって様々です。ここで、特に気をつけていただきたいのは、どの「手続き」も必ず“期限が決まっている”ということです。この期限を守らないと、せっかくの合格が無効になってしまうなど、大変困った事態に陥ってしまうことがあります。くれぐれも、発表のときに渡された書類などは隅々までよく目を通し、絶対に漏れないようにご注意ください。よろしくお願い致します。